

1.「全国クルーズ活性化会議」第14回総会の開催について

（港湾局振興課）

本日の定例記者会見は、港湾局から2件で、1件目は「全国クルーズ活性化会議」第14回総会の開催についてお知らせします。

7月10日に、『全国クルーズ活性化会議』第14回総会を、初の地方開催として、下関市にて開催いたします。

私が昨年10月より会長を務めております「全国クルーズ活性化会議」は、全国レベルでクルーズ振興や誘致に係る必要な情報の共有や意見交換を行っています。

また、各地域に共通する課題の解決を図ることにより、港を通じた地域振興や経済の活性化等に資することを目的として平成24年に設立され、国やクルーズ船社への要望活動なども行っております。

今回の総会は、昨年度の活動を振り返るとともに、国やクルーズ船社に対する要望内容を決議し、クルーズ船社に要望書を手交する大変重要な会となります。

総会には主要なクルーズ船社や全国より首長をはじめとする地方自治体関係者の方々も来られます。この機会にクルーズに係る最新情報の共有や、二次交通不足、オーバーツーリズムといった課題に関する意見交換を行うことで、日本全体の持続可能なクルーズ振興につなげてまいります。

併せて、今回の機会を捉えて、クルーズ業界の関係者の皆様に、本市の魅力につきましても存分にPRすることで、下関港へのさらなるクルーズ客船の誘致につなげてまいります。

この件については、以上です。

2. 下関港ウォーターフロント開発(A 地区)の事業者公募について

(港湾局経営課)

続きまして、現在、アミューズメント施設が立地する、通称A地区において、事業用定期借地権設定契約が令和9年3月末に満了することから、良好な港湾空間の形成やエリア全体の賑わい創出に資する施設整備を行う民間事業者の公募を、7月14日に開始いたします。提案書の受付は公募開始から半年間の令和8年1月16日までとし、その後、選定審査委員会を開催し、令和7年度中に優先交渉権者を選定する予定です。

公募における事業コンセプトは

- ・関門海峡を目の前にしたロケーションを活かし、市民をはじめ観光客にとって訪れる目的となりうるもの
- ・日中から夜間まで年中を通して滞在することができるもの
- ・周辺地域・施設と調和するとともに、回遊性や利便性を高め、魅力ある空間を創出するもの

としており、賑わいを創出する事業でコンセプトに沿った提案であれば、どのような業種でも応募可能とします。

また、新たに創設された「みなと緑地 PPP」制度を活用した、隣接港湾緑地との一体活用の提案も可能としております。

最後に、下関市は、市民が誇れる「日本を代表するウォーターフロントシティ」の実現を目指しており、今年度は海響館のリニューアルオープンやリゾナーレ下関の開業が予定されています。さらに、これらに隣接するA地区の事業者公募により、エリア全体のさらなる賑わいの創出がされることを期待しております。

本日の記者会見は以上です。